

これまでのあらすじ

帰宅途中に
急な腹痛に襲われ……

……



なんとか家のトイレに
辿り着いたが……



まさか……



そんな……

あたし入ってる……



あ……
お姉ちゃん？

妹が入っていた



今日こそ！

日頃したいと思っても勇気がなくてできなかった野外着衣おもらしを試してみせるっ！



だ、だれもいないよね…？



よし…

よ…



私…犯されちやたりするのかなあ…♡

はあはあ…
こんなところ
誰かに見られ
たら…



…ついに
来てしまった

ドキ

…

私はあや
昔おもらしをして
以来その快感が忘れ
られずいろんな場所
でおもらしをするのが
日課な普通の女子です

おもらし

くらーがっ

公園でこんな
格好しちゃってる
…♡

わーっ！
やっちゃった…！

ドキ

ドキ

五分後—

プールの中ではふざけない
プールサイドは走らない
これは授業だからな
遊びじゃないんだぞ

早く入りたい…

おい佐藤！
聞いてるか？

は
はいっ！！

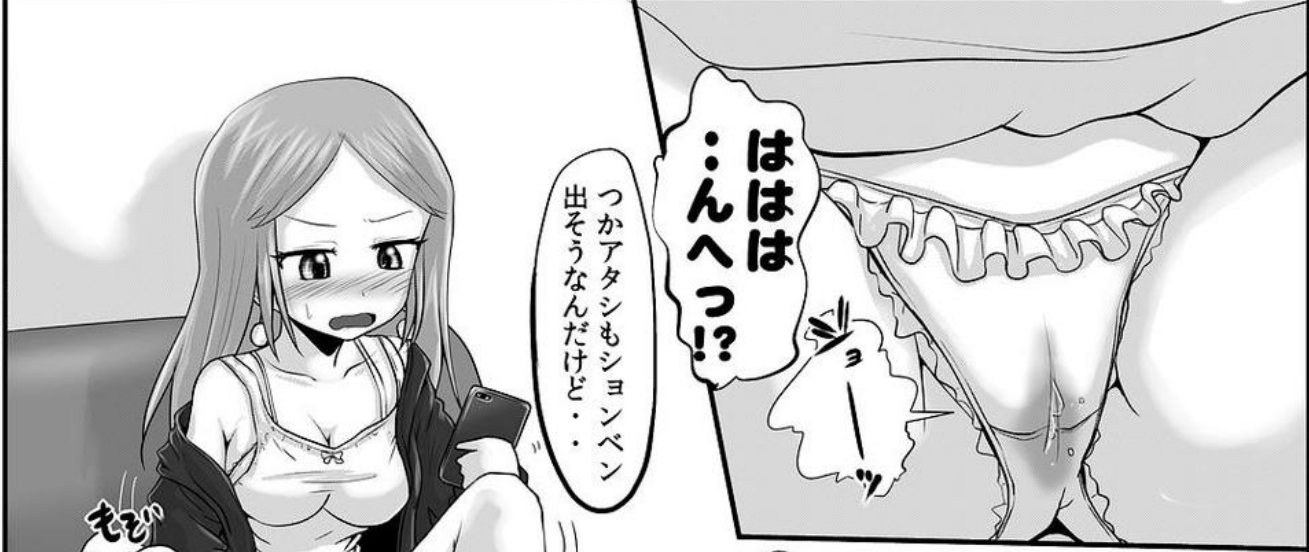
最初の授業だからって…
先生話長すぎだよーっ

はっ…！！

ちよつと
ちびっっちゃったよお…

ちよつと

ふる



ははは
：んへっ!?

つかアタシもシヨンベン
出そうなんだけど...

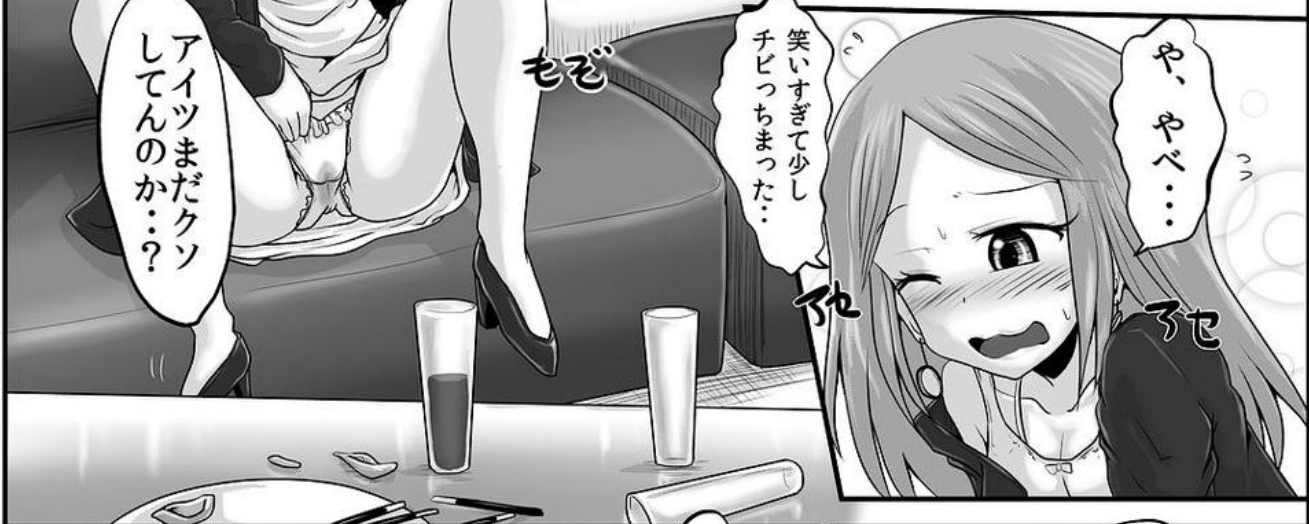
もぞ

アイツまだクソ
してんのか??

もぞ

笑いすぎて少し
チビっちゃまった:

や、やバ...



ふ

ふ



...っあ...っ

あくだめだ
もれるww

急かしに
行くか...

クッ

あ、やば...っ
足にきて...

フ



この先の公園にトイレが
あったはず・・・



ああ・・・

おしっこしたい・・・



しゅぽ



んああっ！
ダメっ・・・

もじもじ



恥かしい...
よお...

ドキ

ドキ

そうだ...

はっ

ここ...ここで
するの？

ゆる



出来ないなら
このあとのご褒美は
無しだよ

はっ

ゆる

そこで
お漏らしするんだ

それは
いや...

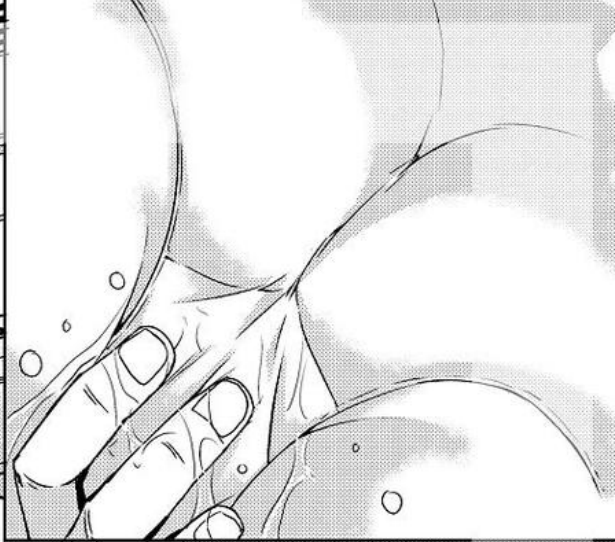
なら
わかってるね？

はい...
ご主人様

ぎゅ...

ただいま
露出お漏らし調教中!

ごや

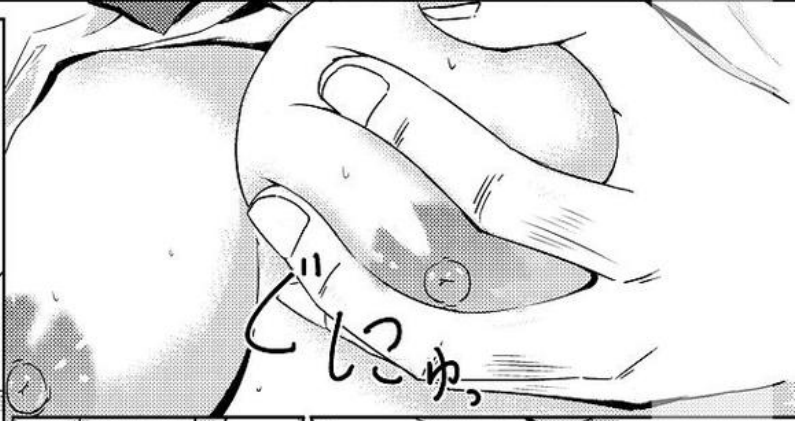


おしっこ我慢してるのに…!!

オバキッ



そんなにされたらおしっこでちやう..



しっく
しっく



ちよる



キユッ

キユッ

しっく

しっく

電気あんまって
遊び知ってる？

な…なにそれ…

相手の両足を
抑える

相手の股間に
震動や刺激を
与える

ほら、
電気マッサージ機って
あるでしょ？
あれを模した遊びよ
男の子ならともかく
女だったらそんなに痛い
ものでもないけど…

利尿剤で
尿意が高まっている
今のアンタに

股間に震動を与える
この遊びをやったら
どうなるのかしらね？

クスクス

……っっ!!

ちよ…霊夢
まつ…

さあいくわ…

あー!



こんな時に……
好きな人に会う
なんて……

どうしよう……
もう……
間に合わない……ッ



嫌だ……見ちやヤダ……



ダ……メ……
コウ君の言ってること……



頭に……
入ってこない……



も、もうダメ!
見……ないでえッ
出ちやう……
出る、でるッ!

あ、あ、あ



私は飛鳥芽衣子、
このお屋敷に
お仕えるメイドです

今日もご主人様のお部屋
のお掃除をしています。

んっ…

でも最近…
いけない遊びを
覚えてしまって…

まじまじ

ブルッ

あ…だ…だめっ

キョロッ

ゴッ

こともあろうに
ご主人様がお留守の
スキにおもらし遊びを
しているんです…♡

おもらし
メイドに
おしおきを
やまふきい

あぁ〜♡

でるうっでちやううっ
ご、ご主人様のお部屋で
お、おもらししてるうっ
ごめんなさいいっ!!♡

じゅん

ぐん

ブルッ

ちかちか

ブルッ

5分経過

お姉ちゃん…

お浣腸効いてきた？

あひる…
もう、ウンチ
でちゃうかも…

えっ！
うそっ？

ぐるる

くうう……

あひる
ウンチして
いいよ

なでなで

もりもり♡

おはっ♡

排泄すよっ
お兄ちゃん！

んんん

ズブズブ

大は小を兼ねない

ピアード

人間の心理というものは、ある種実に単純というか、ワンパターンというか……。

どうしてこう、人間って奴はどいつもこいつも考えることが同じなんだろう。

夏ともなれば暑くてやってられないって気持ちには私にも分かるし、だからプールにでも行くかって気持ちも分かる。

でも、いくらなんだってこんなにも大勢の人間がぎゅうぎゅうとひしめき合っているプールを見せられたら、私じゃなくなつて嫌になるでしょう？

本当は私だつて来たくなかったけど、友人があまりにもしつこく勧めてくるから、結局断れなくて……今となっては、あの時キツバリ断らなかつた私を、私はちよっぴり恨んでいる。

だけどその恨みだつて最初は小さな物だったわ。

人混みだらけとはいえ、親しい友人とこうして何処かへ出かけるのは、別に私だつて嫌じゃありません。

でも、その恨みが今はふつふつと大きな物へと変貌していつてるの。

その切っ掛けは、全てこの尿意にあるわ。

初めはその生まれたての尿意だつて、赤ん坊の様に小さくて可愛らしい物だった。

だけど、この呆れかえるような人混みのプールよ？

当然、トイレにだつて発狂したくなるぐらい長蛇の列ができていたわ。

私はその列の最後尾へ大人しく並び、自分の順番を待った。

だけど、女子トイレの列つてもどかしいぐらい全然前に進まなくて、そうこうしている間に尿意はすくすくと大きく成長し、遂に私の尿意は反抗期を迎えたの。

私の膀胱は、その反抗的圧迫感に耐えられず、私はずいぶん心を折った。もう我慢できない……と。いや、正確に言えば、まだもう少しぐらいなら我慢できる。

だけど、自分の番が回ってくる頃には、とつくに私は漏らしている自信があるの！

この頃私は、大分過去の自分を恨んだ。

だつて、こんな死ぬほどおしっこ我慢しなきゃならなくなったのは、全部アイツのせいなんだから！

って、私は人のせいに見せかけつつも自分のせいにしつつ、どうしたら良いか必死に悩んだ。

その時私は、冷静さを失つたら負けだと言うことに気が付いた。

そしてゆっくりと辺りを見回しながら、あくまでも冷静に考え直したの。

そうすることで私はようやく思い出すことができた……私は今、プールに居るんだつて言うことが。

そうよ、プール！ プールとは自分が浸かれるほどの巨大な水溜まり……。

液体っていうのは、比較的簡単に混ぜ合わせる事ができる物質。

そして、プールに溜まっているのも液体。私の膀胱に溜まっているのも液体。

つまりここで一つの必然的解が導かれるのは、もはや猿でも分かることだろう。